

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		必修 (精) 選択 (社.心)	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
森屋 直樹	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p><目的> 地域定着や地域生活を支援するための援助技術や援助展開について、ケアマネジメントを中心に理解し、説明できるようになることを目的とする。地域を基盤とした生活支援は、精神保健福祉士の支援の基本となる部分であり、地域資源のネットワークを主としたケアマネジメントに関することを中心に講義する。ケアマネジメントに関する理論や手法などを正確に理解できるよう促していく。</p> <p><概要> 授業はテキストを中心に、同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、テキストに書かれている内容が実践現場においてどのように行われているか事例をもとに説明する。</p>				
学習上の助言	ケアマネジメントに関する理論や手法などを正確に理解できるよう学んでほしい。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 5「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」第2版 日本精神保健福祉士養成校協会編：中央法規出版				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域定着や地域生活支援に係る援助技術や援助展開について理解し、説明できる。			社・精	
②	ケアマネジメントに関する理論や手法について理解し、説明できる。			社・精	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
2	地域ネットワークの理解について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
3	アウトリーチについて学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
4	地域生活支援事業と訪問援助について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
5	家族会・セルフヘルプグループについて学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
6	精神保健福祉ボランティアの育成と活用について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
7	ケアマネジメントの原則について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
8	ケアマネジメントの意義と方法について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
9	ケアマネジメントの展開過程について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
10	チームケアについて学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
11	地域を基盤にした支援の概念について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
12	地域アセスメントについて学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
13	地域を基盤にした支援の具体的展開について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
14	包括的な支援の意義と展開について学習する。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
15	全体の復習を行う。	同時双方向型授業 講義	教科書を読み、用語を調べる。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	10	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	毎回の講義毎にリアクションペーパーを利用した理解度チェックを行う。それを基にした定期試験により評価する。評価割合は定期試験 80%とする。				試験結果を踏まえ、理解の傾向や内容等について最終講義において補足や解説等を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		毎回の講義毎にリアクションペーパーを利用した理解度チェックを行う。評価割合は 20%とする。				各回講義において、提出されたリアクションペーパーを基に理解の傾向や内容等について解説等を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>・ Teams を使って遠隔授業も行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分注意してください。</p> <p>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえますので、ご承知のほどお願いします。</p> <p>教員の実務経験： 2000年4月～2015年7月 公益財団法人住吉偕成会 精神保健福祉士として、医療相談室、就労移行/就労継続B型支援事業所、障害者就業・生活支援センター等に勤務 2015年10月～現在 国立大学法人山梨大学 学生サポートセンター アクセシビリティ・コミュニケーション支援室に勤務</p> <p>実践的授業の内容： あらゆるフィールドで実践する精神保健福祉士が求められる援助技術について、現場での具体的事例を基に意見交換を行い理解を深めていく。</p>							